

読書のすゝめ

その33

H 28

11 / 2

桜芳祭 (図書委員会) 報告

前日の雨(寒かったですね)がウソのように快晴の桜芳祭2日目となりました。クラスで、文化部で、またステージで、みなさんの活躍が光っていました。



手作りしおり完売しました!

図書委員会では古雑誌としおりの販売をしましたが、大盛況で、手作りのしおりは完売しました。また、文学散歩の写真やパネル展示の感想をパネル展示しましたが、今後図書館に展示しておくので、ゆっくり読んでもらいたいと思います。雑誌・しおりの売上金6950円はすべて募金させていただきます。



新着図書紹介 (47冊)

今回は進路関係の書籍と重なったので少ないですが、読書感想画コンクール指定図書5冊を含め、さまざまなジャンルで受け入れてあります。図書館入り口のコーナーに注目!



『先生、イソギンチャクが腹痛を起こしています』小林朋道(築地書館) 鳥取環境大学で人間動物行動学を研究・教授する著者による「先生!」シリーズの10冊目。カラー写真満載!! 学生がヤギ部のヤギの髭で筆をつくり、メジナはルリスズメダイに追いかけられ、母モモンガはへビを見て足踏みする。自然豊かな大学を舞台に起こる動物と人間をめぐる事件の数々を人間動物行動学の視点で描いたもの。



『自分の顔が好きですか?』山口真美(岩波書店) 顔は心の窓と言われ、魅力的な顔をしていると、よりよい人間関係が築ける。でも「魅力」とは目鼻立ちの美しさではありません。では「いい顔」とは何でしょうか? なぜ私たちは「顔」が気になるのでしょうか? 顔を覚えるコツ、第一印象は大切か、修正写真も「私の顔」と言えるのか。「顔」にまつわるさまざまな疑問を、心理学で解き明かします。



①『ブラックバイト』今野晴貴 (岩波書店) 学生たちを食い潰す「ブラックバイト」が社会問題化している。休みのない過密シフトで心身を壊すほど働き、売上ノルマのため「自爆営業」も強いられる。授業に出ることもできず、留年・退学に至るケースまで…。多くの相談・解決にあたった著者が、恐るべき実態と原因を明らかにし、具体的な対策をも提示する。



②『西一番街ブラックバイト』石田衣良(文藝春秋) 過酷な労働を強いられ、辞めることもできない。若者を使い潰すブラック経営者に、Gポイズが怒りの声をあげる! 多くの飲食店を経営するOKグループが若者を使い潰す方法は、「憲兵」が脅し、「腐った五人」が痛めつけること。池袋にはびこるブラック企業に、マコトとタカシが立ち向かう。

廃校学校アートギャラリーの作品が損壊される事件、YouTubeバーが引き起こす事件、整形にからむ事件、ブラック企業事件の4編。現代社会の陰の部分を描かれる。

※ブラックバイト関連の2冊はNDCで①は366・社会科学(労働)と②は913・日本文学という異なるジャンルになります。様々な視点から本を探してみましよう!